

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/26】

この試合のプレー集計

男子準々決勝3

群馬県選抜 17

5	－	1
6	－	2
3	－	2
3	－	3

8 福岡県選抜

PSO

宇田川佑里子

審判:

塚本 龍一

群馬県選抜	31	SH数	23	福岡県選抜
	10	速攻数	3	
	10	ST・SB	11	
	13	SH・P誘発アシスト	4	
	47%	GK阻止率	29%	
5	EX反則数	6		

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

準々決勝第3試合は、この世代のJO完全制覇した群馬と大会を通じて成長してきた福岡というカードとなった。優勝候補の群馬であるが、センター②前田が本来の調子ではなく、攻撃の軸が定まっていないう予選リーグだったが、それでも全員でカバーする総合力に長けている。福岡は京都戦の前半で見たような粘り強いディフェンスで失点防ぎ、後半勝負に出たいところ。

【1P】

群馬が圧倒的に攻勢に出るものの、シュートがなかなか決まらず状態だったが、福岡のオフェンス反則から④齋藤→②前田の黄金コンビで先制点をマーク。これで吹っ切れたのか②前田が連続得点。さらに④齋藤→⑩深澤で追加点。完全な群馬ペースで福岡は防戦一方の展開となった。さらに④齋藤→右サイド⑤深澤で4点目。ここでようやく福岡④大野が6mSHを決めて1点を返したが、群馬はセンター⑥関口が退水を誘発して追加点を奪って第1ピリオド終了(群馬5－1福岡)。福岡は群馬の司令塔④齋藤を自由にさせ過ぎていて、視野の広い④齋藤から次々にラストパスが投げられる展開となった。福岡の④齋藤への対策が急務だろう。

【2P】

エンジンのかかった群馬②前田はなかなか抑えられない。センターで退水を誘発してそこを③椎名が決めて6点目を作り出した。その流れで群馬は③椎名、さらには④齋藤、退水攻撃で②前田が決めて9点目。福岡の退水攻撃も完全ブロックして逆に③椎名が退水を奪って10点目をマーク。福岡は退水攻撃で④大野が決めて、長い群馬の連続得点を阻止した。群馬のカウンターSHミスから福岡が反撃。センター⑧勝木が華麗なバックシュートを決めて福岡3点目。しかし、最後は群馬④齋藤が右サイドから決めて群馬11－3福岡で第2ピリオド終了。

【3P】

福岡はボールを保持しても攻め手がなく、ロングシュートで攻撃放棄。そこを④齋藤が泳いで詰めて右サイド⑥関口が追加点をマーク。福岡は群馬のシュートミスから攻勢に出て、⑧勝木が押し込んで4点目。さらに群馬のミスから⑥松尾が決めて5点目をマーク。しかし、ピリオド終了時に群馬センター②前田がこの試合5点目を決めて、群馬14－5福岡で第3ピリオド終了。

【4P】

福岡④大野の右サイドからのループシュートで福岡が1点を返す。群馬はペナルティで追加点をあげるが、福岡は③中尾が決めるが、群馬も②前田が取り返すというように双方が点を取り合う状態となった。群馬は交代選手の⑩竹腰が決めると、福岡も⑧勝木が決めて試合終了。群馬17－8福岡で、群馬が2年連続の準決勝進出を決めた。

この試合、ここまであまり目立った活躍がなかった②前田が本来の動きを取り戻したのは大きい。センターバックの守備も徐々に安定し、そこからの攻撃への転換は相手側には脅威となるだろう。そうしたプレーを活かす④齋藤も調子を上げてきており、昨年は準決勝で敗れたリベンジを果たせるかどうか、今後の群馬から目を離さない。